

飯田市 若者の意識と生活に関する調査結果報告書 抜粋版

1 調査の目的

飯田市では令和7年度から令和11年度を計画期間とした「飯田市こども若者まんなかプラン」を策定し、飯田の未来を担うこどもや若者の健やかな育ちへの支援ができる環境の整備を目指しています。

今回、若者の方が家庭や社会生活、悩み、飯田市への愛着等についてどのように考えているかを把握するため、アンケート調査を実施しました。

2 調査の設計

調査対象者および調査期間・方法は、以下のとおりです。

調査対象者	飯田市に居住する15～39歳 5,000件（無作為抽出）
調査期間	令和7年8月～9月
配布、回収方法	郵送配布、Web回答

3 調査票の配布と回収状況

調査による配布・回収状況は、以下のとおりです。

調査票	配布数（人）	回収数（人）	回収率（％）
15歳～39歳	5,000	621	12.4

4 報告書の記載方法

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

5 飯田市こども若者まんなかプランの成果指標

飯田市こども若者まんなかプランでは、計画の達成状況を評価するために、成果指標を以下のように設定しています。（若者に関わる部分のみ抜粋しています）

評価項目	現状値	目標値 (令和 11 年度)
「家庭がほっとできる、安心できる場所」 と思う又はどちらかといえばそう思う若者の 割合※ ¹	若 者：89.4% (令和 6 年 10 月調査)	若 者：92.5%
将来に希望がある又はどちらかといえばある 若者の割合※ ²	若 者：65.6% (令和 6 年 10 月調査)	若 者：75.6%
飯田市が好き又はどちらかといえば好きと思う 若者の割合※ ³	若 者：71.5% (令和 6 年 10 月調査)	若 者：81.5%
飯田市に住み続けたいと思う又はどちらかとい えばそう思う若者の割合※ ³	59.2% (令和 6 年 10 月調査)	69.2%

※¹ この指標では、若者を 16 歳から 39 歳として調査した結果を指標としています。家庭の団らんがこども・若者の安心する居場所であると考える者について、令和 4 年に国がこども（0-14 歳）に対して調査した結果の 92.5%を目指し、こども・子育ての孤立を防ぐ取組を推進します

※² さまざまな困難を抱える若者や子育て家庭の支援に取り組み、自己肯定感をもって将来の希望を描ける若者を増やします

※³ いま、飯田が好きと思う若者の割合と、将来も住み続けたいと思う若者の割合を高め、飯田に定住し家庭を築く希望を持つ若者が、「飯田（ここ）で育ってよかった、育ててよかった」と感じられるまちをつくります

6 飯田市こども若者まんなかプランの成果指標の経年比較

今回の調査結果のうち、成果指標に掛かる設問の結果は以下のとおりです。

評価項目	現状値	今回調査結果
「家庭がほっとできる、安心できる場所」 と思う又はどちらかといえばそう思う若者の割合	若 者：89.4% (令和6年10月調査)	87.7%
将来に希望がある又はどちらかといえばある 若者の割合	若 者：65.6% (令和6年10月調査)	65.1%
飯田市が好き又はどちらかといえば好きと思う 若者の割合	若 者：71.5% (令和6年10月調査)	77.3%
飯田市に住み続けたいと思う又はどちらか といえばそう思う若者の割合	59.2% (令和6年10月調査)	57.3%

※今回の調査は対象者を15歳～39歳、令和6年度調査は対象者を16歳～39歳としています

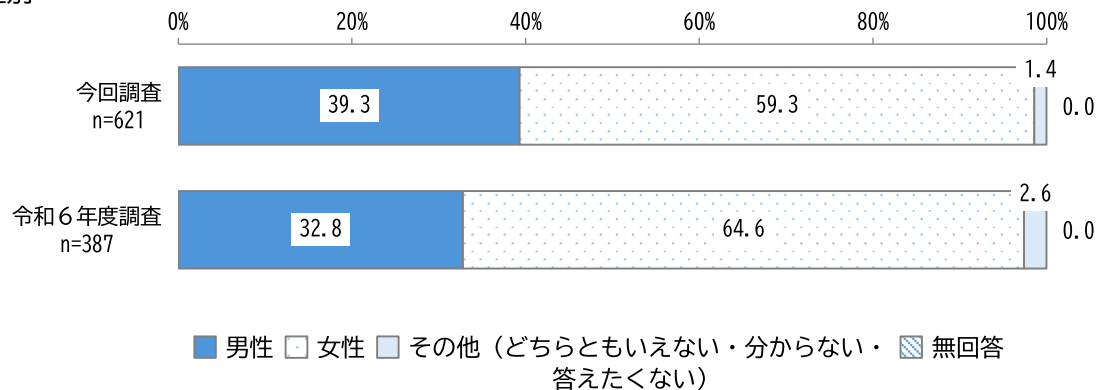
7 調査結果

あなたの性別をお答えください。(単数回答)

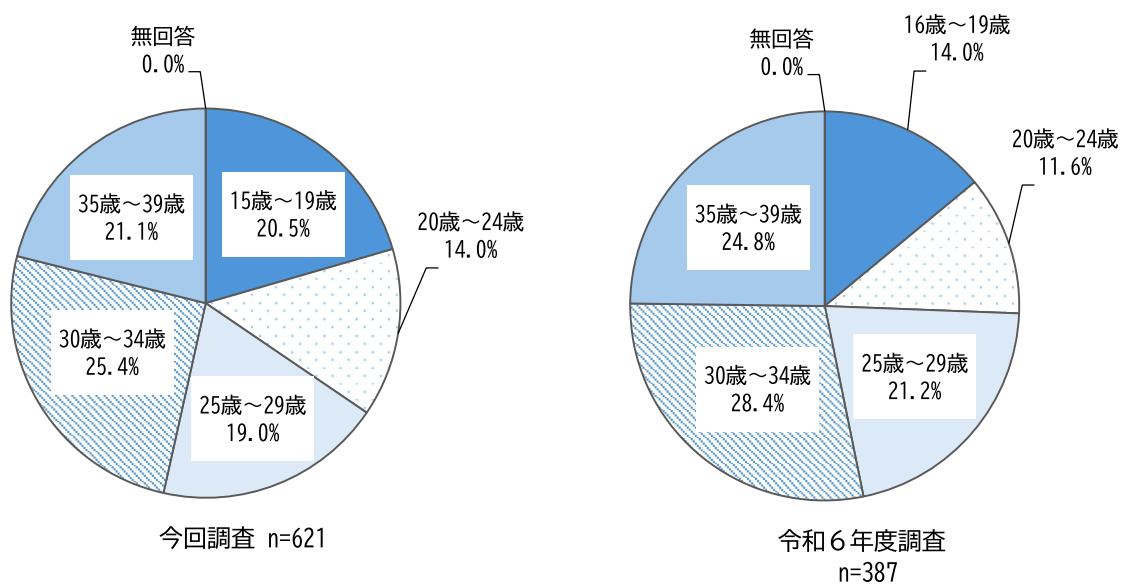
あなたの年齢についてお答えください。(単数回答)

回答者の属性は、以下のとおりです。

●性別



●年齢

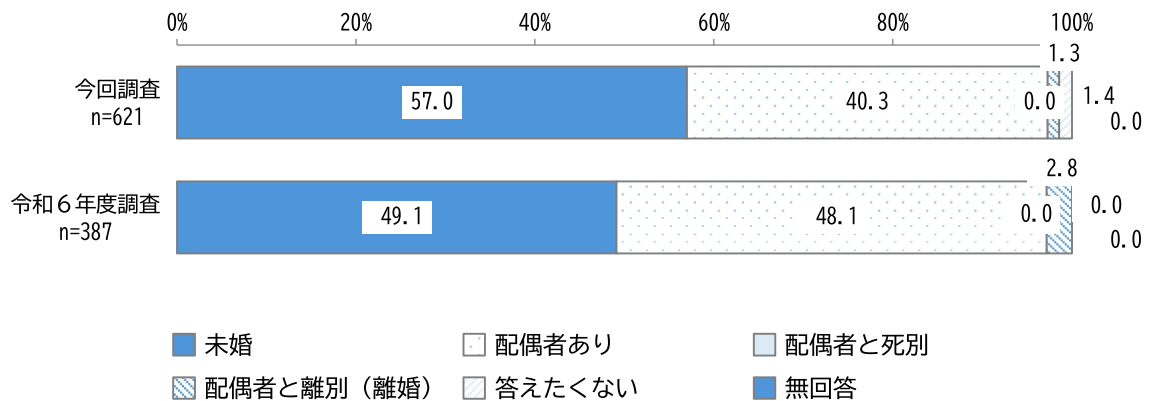


※今回の調査は対象者を15歳～39歳、令和6年度調査は対象者を16歳～39歳としています

あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(単数回答)

「未婚」が57.0%で最も高く、次いで「配偶者あり」が40.3%、「配偶者と離別（離婚）」が1.3%となっています。

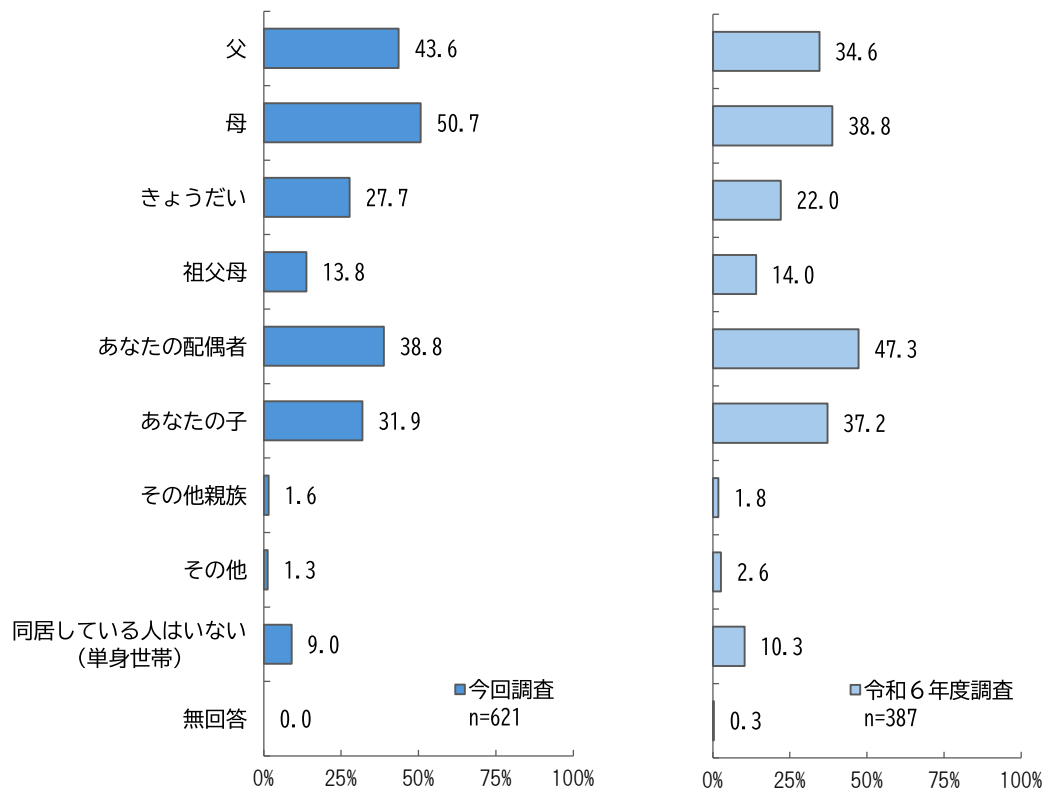
前回調査と比較すると、「未婚」が7.9ポイント増加しています。



あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(複数回答)

「母」が50.7%で最も高く、次いで「父」が43.6%、「あなたの配偶者」が38.8%、「あなたの子」が31.9%と続きます。

前回調査と比較すると、「母」が11.9ポイント、「父」が9.0ポイント増加しています。



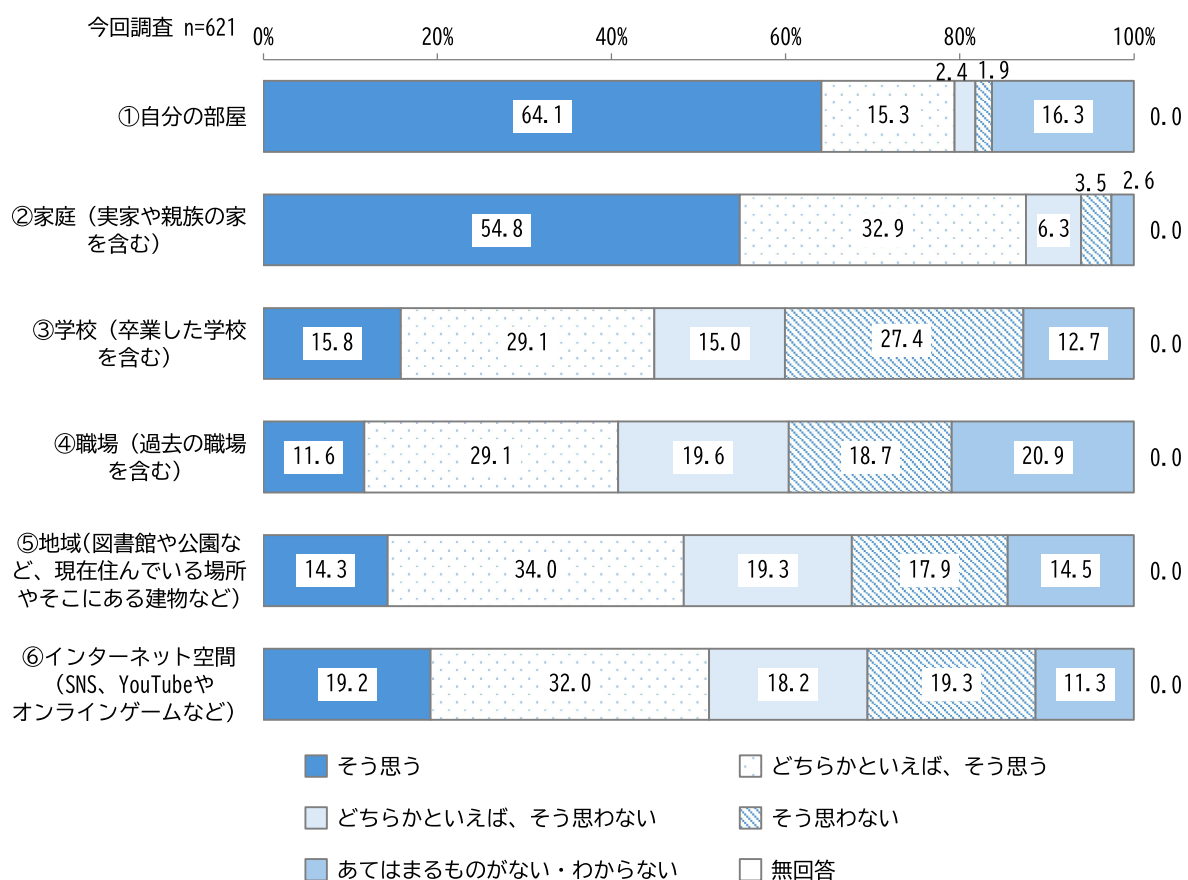
(1)若者の安心する場所

次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。（単数回答）

●今回調査

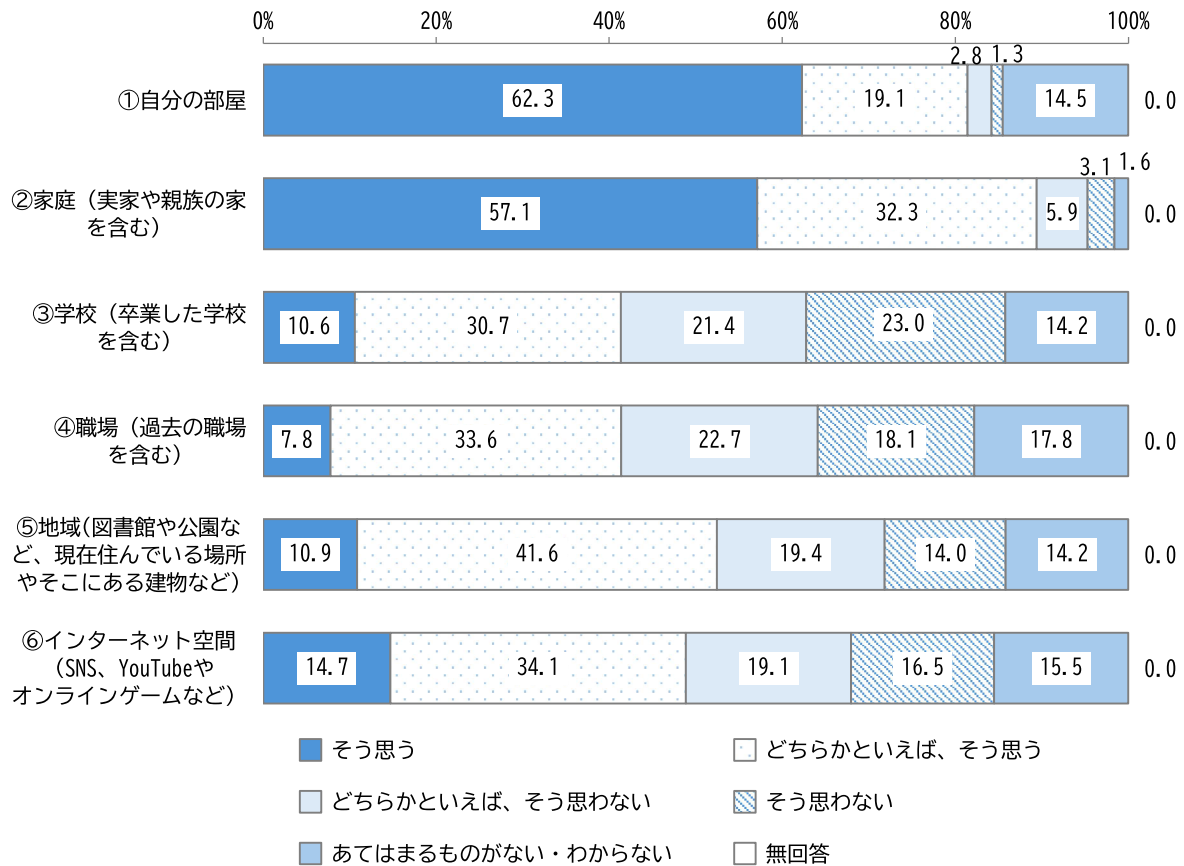
居場所になっている場所について、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると“②家庭（実家や親族の家を含む）”（87.7%）が最も高く、次いで“①自分の部屋”（79.4%）となっています。

前回調査と比較すると、“⑤地域（図書館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）”が4.2ポイント減少、“③学校（卒業した学校を含む）”が3.6ポイント、“⑥インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）”が2.4ポイント増加しています。



●令和6年度調査

令和6年度調査 n=387



(2)若者の将来の希望

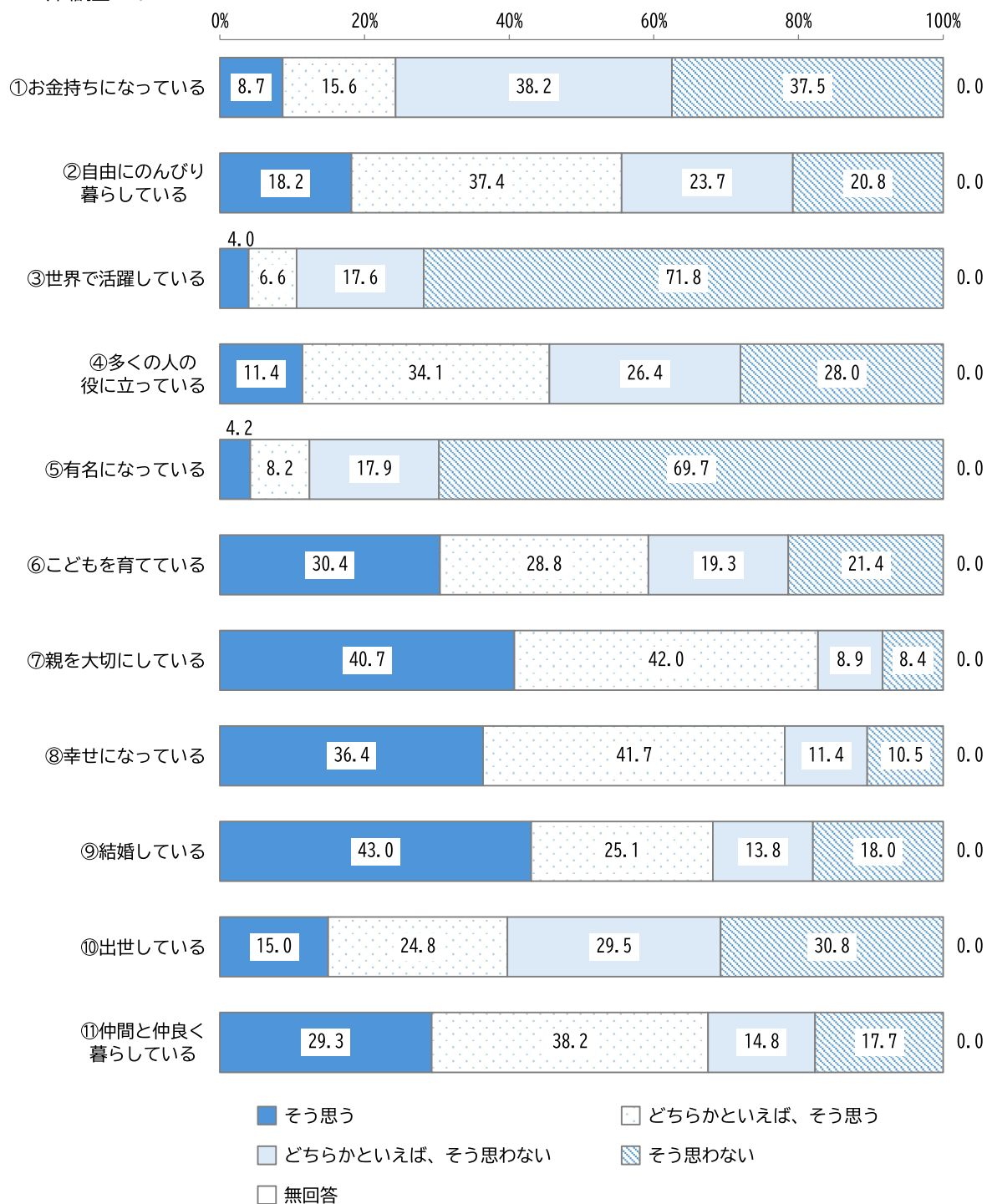
20年後、あなたはどのようになっていると思いますか。(単数回答)

●今回調査

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、“⑦親を大切にしている”(82.7%)が最も高く、次いで“⑧幸せになっている”(78.1%)、“⑨結婚している”(68.1%)となっています。

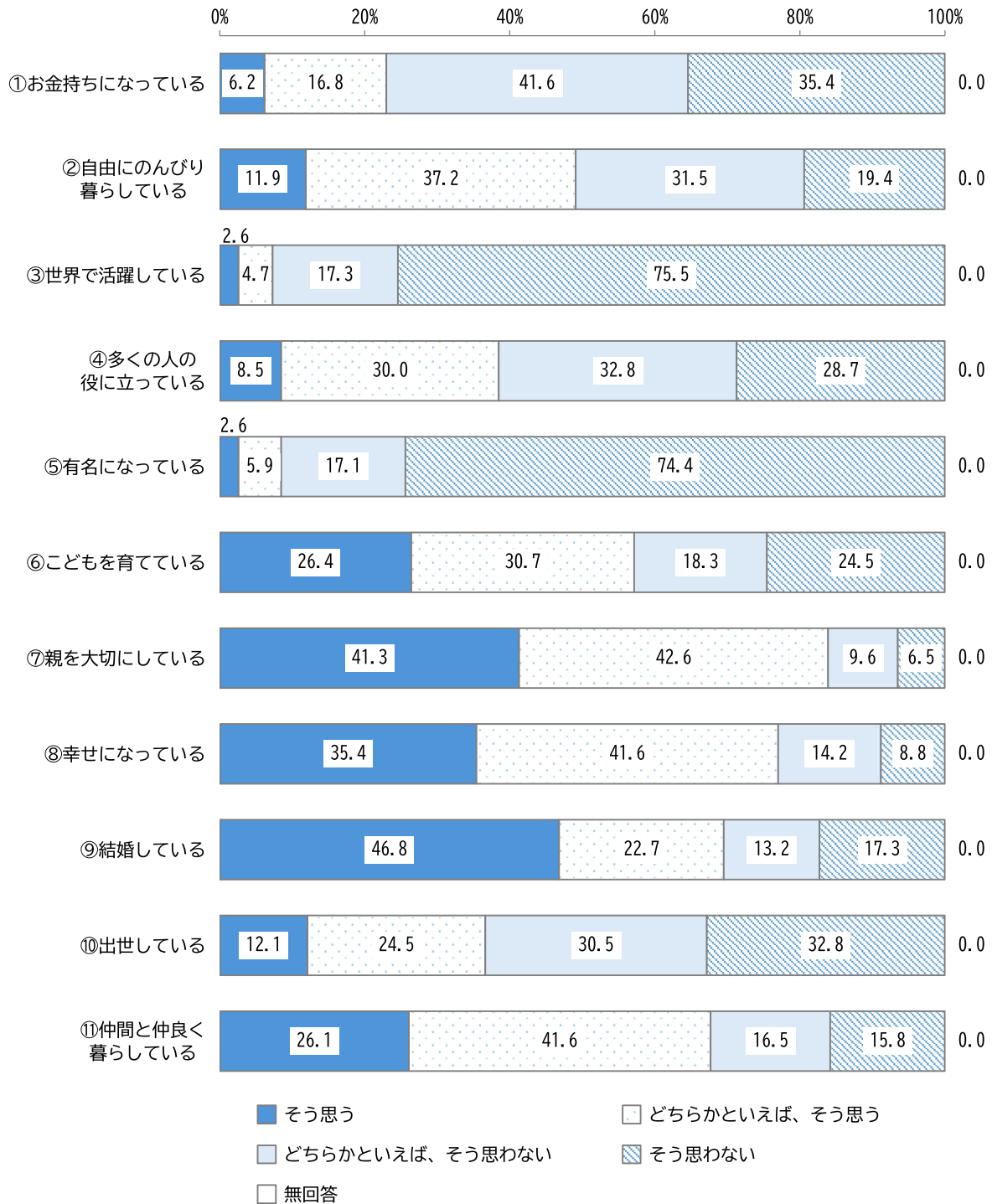
前回調査と比較すると、“④多くの人の役に立っている”が7.0ポイント、“②自由にのんびり暮らしている”が6.5ポイント、“⑤有名になっている”が3.9ポイント増加しています。

今回調査 n=621



●令和6年度調査

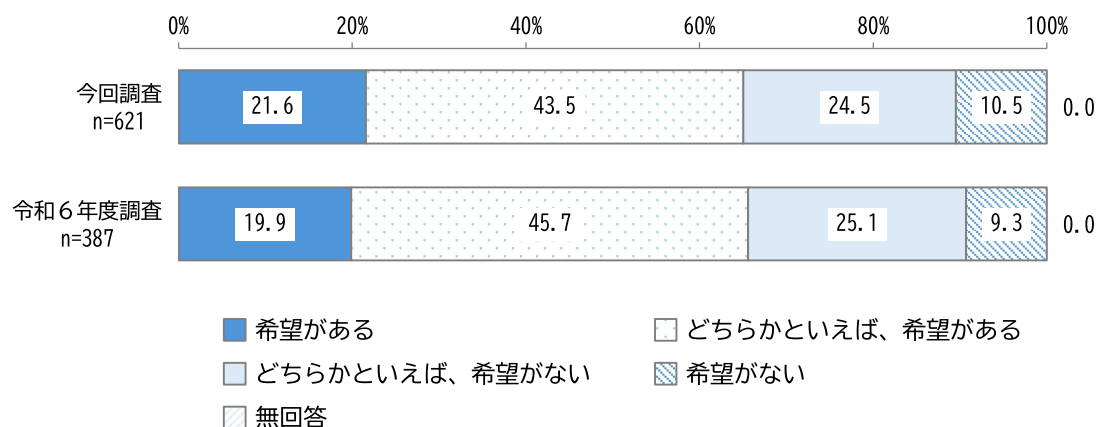
令和6年度調査 n=387



あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(単数回答)

「どちらかといえば、希望がある」が43.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば、希望がない」が24.5%と続きます。

前回調査と比較すると、「希望がある」が1.7ポイント増加しています。



● 自分の将来について明るい希望を持っていますか 年齢別・現在の婚姻状況別

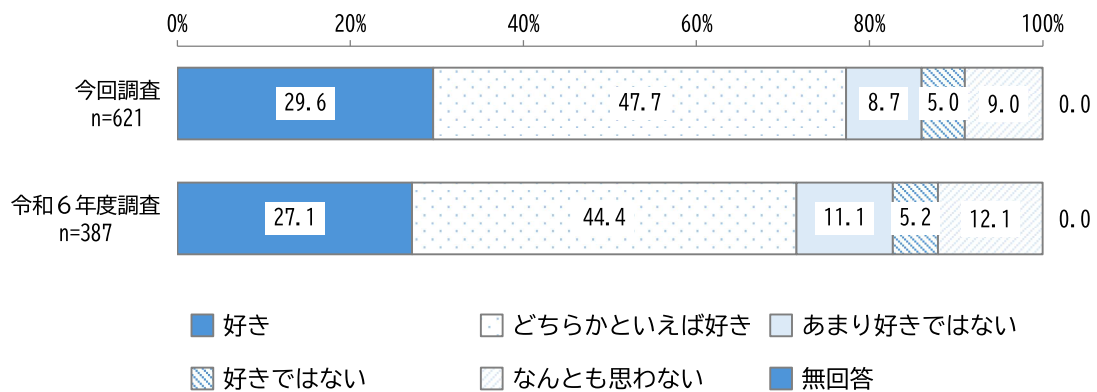
	将来について明るい希望を持っている	どちらかといえば、持っている	どちらかといえば、持っていない	持っていない
15～19歳 n=127	29.9	41.7	25.2	3.1
20～24歳 n=87	31.0	46.0	12.6	10.3
25～29歳 n=118	22.9	38.1	28.8	10.2
30～34歳 n=158	15.2	50.0	23.4	11.4
35～39歳 n=131	13.7	40.5	29.0	16.8

	将来について明るい希望を持っている	どちらかといえば、持っている	どちらかといえば、持っていない	持っていない
未婚 n=354	23.7	39.3	25.1	11.9
配偶者あり n=250	18.0	51.6	22.8	7.6
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚） n=8	12.5	12.5	50.0	25.0
答えたくない n=9	44.4	11.1	22.2	22.2

(3)飯田市への愛着

あなたは、飯田市が好きですか。(単数回答)

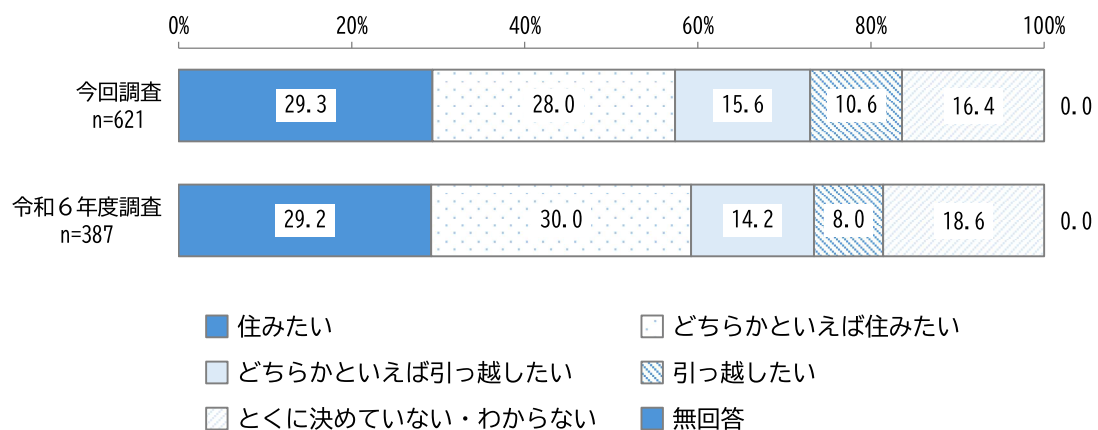
「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した割合は77.3%となっており、前回調査と比較して5.8%増加しています。一方で、「あまり好きではない」又は「好きではない」と回答した割合は13.7%となっており、前回調査と比較して2.6ポイント減少しています。



あなたは、今の住所にこれからも住みたいですか。(単数回答)

「住みたい」が29.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば住みたい」が28.0%と続きます。

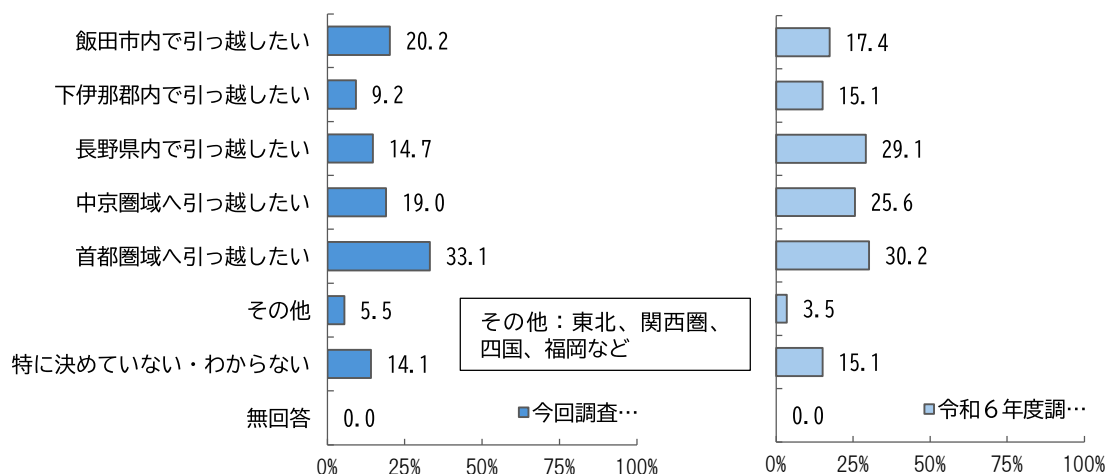
前回調査と比較すると、「とくに決めていない・わからない」が2.2ポイント減少しており、「引っ越したい」が2.6ポイント増加しています。



引っ越したい先はどんなところですか。(複数回答)

「首都圏域へ引っ越したい」が33.1%で最も高く、次いで「飯田市内で引っ越したい」が20.2%、「中京圏域へ引っ越したい」が19.0%と続きます。

前回調査と比較すると、「首都圏域へ引っ越したい」が2.9ポイント、「飯田市内で引っ越したい」が2.8ポイント増加、「長野県内で引っ越したい」が14.4ポイント、「中京圏域へ引っ越したい」が6.6ポイント、「下伊那郡内で引っ越したい」が5.9ポイント減少しています。



- 年齢別では、“15 歳～19 歳”は「首都圏域へ引っ越したい」が44.2%と最も高く、「中京圏域へ引っ越したい」が32.6%と続きます。“20 歳～24 歳”は「首都圏域へ引っ越したい」が43.5%と最も高く、「中京圏域へ引っ越したい」が21.7%と続きます。“25 歳～29 歳”は「長野県内で引っ越したい」が28.9%と最も高く、「下伊那郡内で引っ越したい」が26.3%と続きます。“30 歳～34 歳”は「飯田市内で引っ越したい」が42.9%と最も高くなっています。“35 歳～39 歳”は「首都圏域へ引っ越したい」が32.3%最も高く、「飯田市内で引っ越したい」が25.8%と続きます。

	飯田市内で 引っ越したい	下伊那郡内で 引っ越したい	長野県内で 引っ越したい	中京圏域へ 引っ越したい	首都圏域へ 引っ越したい	その他	特に決めて いない・ わからない	無回答
15～19歳 n=43	14.0	2.3	4.7	32.6	44.2	4.7	14.0	0.0
20～24歳 n=23	4.3	8.7	17.4	21.7	43.5	4.3	21.7	0.0
25～29歳 n=38	15.8	26.3	28.9	5.3	23.7	2.6	7.9	0.0
30～34歳 n=28	42.9	3.6	10.7	10.7	21.4	10.7	14.3	0.0
35～39歳 n=31	25.8	3.2	12.9	22.6	32.3	6.5	16.1	0.0

- 現在の婚姻状況別では、“未婚”は「首都圏域へ引っ越したい」が41.7%と最も高くなっています。“配偶者あり”では「飯田市内で引っ越したい」が33.3%と最も高くなっています。(配偶者と離別(離婚)”と“答えたくない”は母数が少ないため、コメント省略)

	飯田市内で 引っ越したい	下伊那郡内で 引っ越したい	長野県内で 引っ越したい	中京圏域へ 引っ越したい	首都圏域へ 引っ越したい	その他	特に決めて いない・ わからない	無回答
未婚 n=103	13.6	4.9	12.6	24.3	41.7	5.8	15.5	0.0
配偶者あり n=57	33.3	17.5	17.5	8.8	19.3	5.3	10.5	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別(離婚) n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない n=2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【参考】 引っ越したい先はどんなところですか / 年齢別 現在の婚姻状況別

●15歳～19歳

	飯田市内で 引っ越したい	下伊那郡内で 引っ越したい	長野県内で 引っ越したい	中京圏域へ 引っ越したい	首都圏域へ 引っ越したい	その他	特に決めて いない・ わからない
未婚 n=41	14.6	2.4	4.9	31.7	46.3	4.9	12.2
配偶者あり n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚） n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない n=2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

●20歳～24歳

	飯田市内で 引っ越したい	下伊那郡内で 引っ越したい	長野県内で 引っ越したい	中京圏域へ 引っ越したい	首都圏域へ 引っ越したい	その他	特に決めて いない・ わからない
未婚 n=23	4.3	8.7	17.4	21.7	43.5	4.3	21.7
配偶者あり n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚） n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●25歳～29歳

	飯田市内で 引っ越したい	下伊那郡内で 引っ越したい	長野県内で 引っ越したい	中京圏域へ 引っ越したい	首都圏域へ 引っ越したい	その他	特に決めて いない・ わからない
未婚 n=17	17.6	11.8	23.5	11.8	41.2	0.0	11.8
配偶者あり n=21	14.3	38.1	33.3	0.0	9.5	4.8	4.8
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚） n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●30歳～34歳

	飯田市内で 引っ越したい	下伊那郡内で 引っ越したい	長野県内で 引っ越したい	中京圏域へ 引っ越したい	首都圏域へ 引っ越したい	その他	特に決めて いない・ わからない
未婚 n=10	30.0	0.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0
配偶者あり n=18	50.0	5.6	5.6	11.1	22.2	5.6	16.7
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚） n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●35歳～39歳

	飯田市内で 引っ越したい	下伊那郡内で 引っ越したい	長野県内で 引っ越したい	中京圏域へ 引っ越したい	首都圏域へ 引っ越したい	その他	特に決めて いない・ わからない
未婚 n=12	8.3	0.0	8.3	33.3	41.7	8.3	25.0
配偶者あり n=18	38.9	5.6	11.1	16.7	27.8	5.6	11.1
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚） n=1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

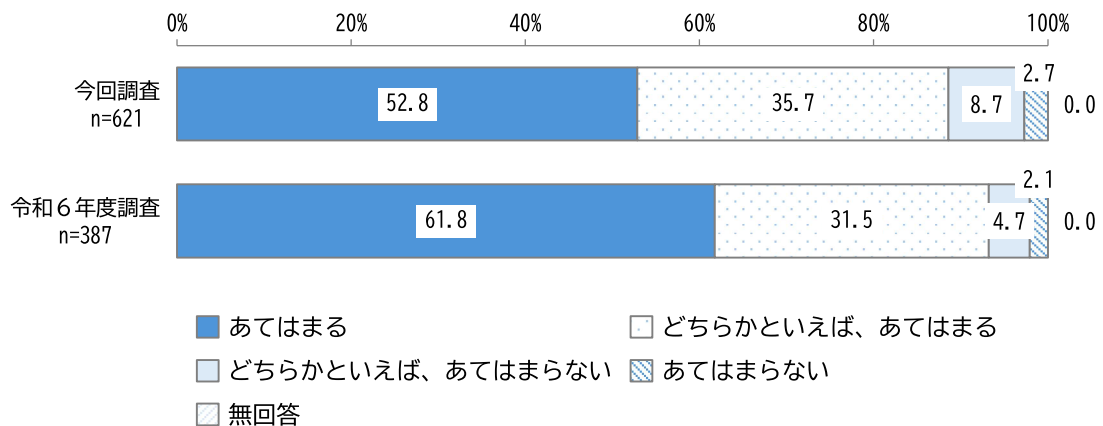
(4)若者の自己肯定感

あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(単数回答)

●自分の親（保護者）から愛されていると思う

「あてはまる」が52.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」が35.7%と続きます。

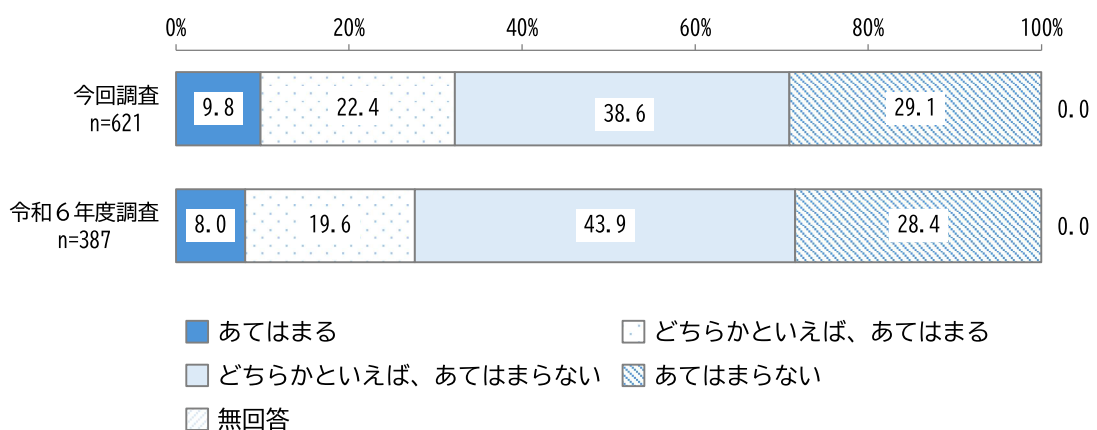
前回調査と比較すると、「あてはまる」が9.0ポイント減少しています。



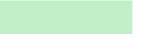
●自分は役に立たないと強く感じる

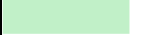
「どちらかといえば、あてはまらない」が38.6%で最も高く、次いで「あてはまらない」が29.1%と続きます。

前回調査と比較すると、「どちらかといえば、あてはまらない」が5.3ポイント減少、「あてはまる」が1.8ポイント、「どちらかといえば、あてはまる」が2.8ポイント増加しています。



● 自分の親（保護者）から愛されていると思う / 年齢別・現在の婚姻状況別

	自分の親(保護者)から愛されていると思う	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
15～19歳 n=127	 63.8	 30.7	 2.4	 3.1
20～24歳 n=87	 62.1	 33.3	 4.6	 0.0
25～29歳 n=118	 58.5	 29.7	 9.3	 2.5
30～34歳 n=158	 43.0	 43.0	 12.0	 1.9
35～39歳 n=131	 42.7	 38.9	 13.0	 5.3

	自分の親(保護者)から愛されていると思う	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
未婚 n=354	 55.9	 33.6	 7.6	 2.8
配偶者あり n=250	 50.0	 38.8	 9.2	 2.0
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚）n=8	 25.0	 37.5	 37.5	 0.0
答えたくない n=9	 33.3	 33.3	 11.1	 22.2

● 自分は役に立たないと強く感じる / 年齢別・現在の婚姻状況別

	自分は役に立たないと強く感じる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
15～19歳 n=127	 9.4	 21.3	 43.3	 26.0
20～24歳 n=87	 16.1	 17.2	 36.8	 29.9
25～29歳 n=118	 6.8	 27.1	 36.4	 29.7
30～34歳 n=158	 7.6	 24.7	 40.5	 27.2
35～39歳 n=131	 11.5	 19.8	 35.1	 33.6

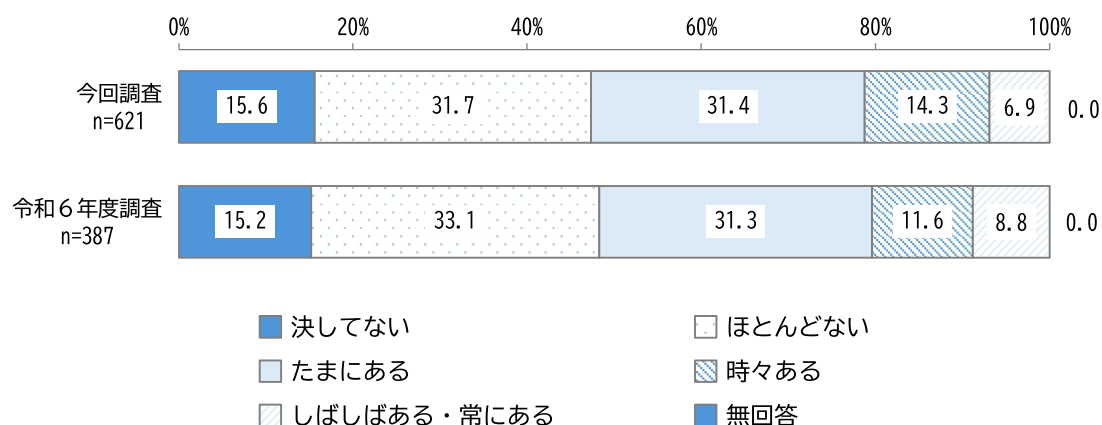
	自分は役に立たないと強く感じる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
未婚 n=354	 12.4	 23.2	 37.9	 26.6
配偶者あり n=250	 6.0	 20.4	 40.0	 33.6
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚）n=8	 12.5	 62.5	 25.0	 0.0
答えたくない n=9	 11.1	 11.1	 44.4	 33.3

(5)若者の孤立感

あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(単数回答)

孤独感の程度について、「ほとんどない」が31.7%で最も高く、次いで「たまにある」が31.4%と続きます。

前回調査と比較すると、「時々ある」が2.7ポイント増加しています。



● 孤独であると感じることがありますか / 年齢別・現在の婚姻状況別

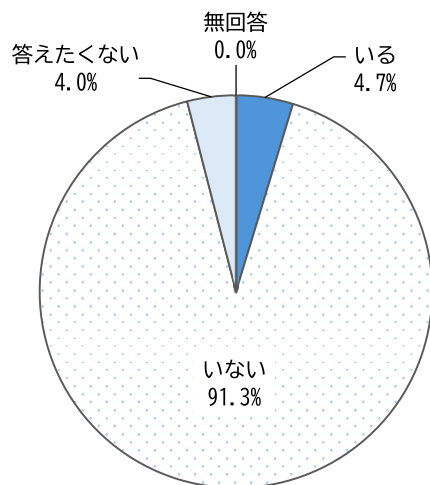
	孤独であると感じることがない	ほとんどない	たまにある	時々ある	しばしばある・常にある
15～19歳 n=127	18.1	34.6	28.3	13.4	5.5
20～24歳 n=87	11.5	37.9	31.0	12.6	6.9
25～29歳 n=118	19.5	27.1	30.5	14.4	8.5
30～34歳 n=158	12.0	32.9	36.1	12.7	6.3
35～39歳 n=131	16.8	27.5	29.8	18.3	7.6

	孤独であると感じることがない	ほとんどない	たまにある	時々ある	しばしばある・常にある
未婚 n=354	14.7	29.1	33.9	15.0	7.3
配偶者あり n=250	17.2	36.8	28.0	12.8	5.2
配偶者と死別 n=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者と離別（離婚） n=8	0.0	0.0	50.0	37.5	12.5
答えたくない n=9	22.2	22.2	11.1	11.1	33.3

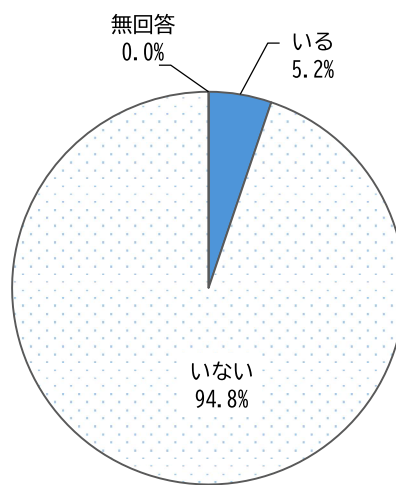
(6)ヤングケアラー

現在家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(単数回答)

「いる」が4.7%、「いない」が91.3%となっています。
 前回調査と比較すると、「いる」が0.5ポイント減少しています。



今回調査 n=621



令和6年度調査 n=387

※「いる」と回答した人数 今回調査：29人 令和6年度調査：20人

●お世話をしていると回答した29人のうち

「学校や仕事に行きたくても行けない」と回答した人数：6人

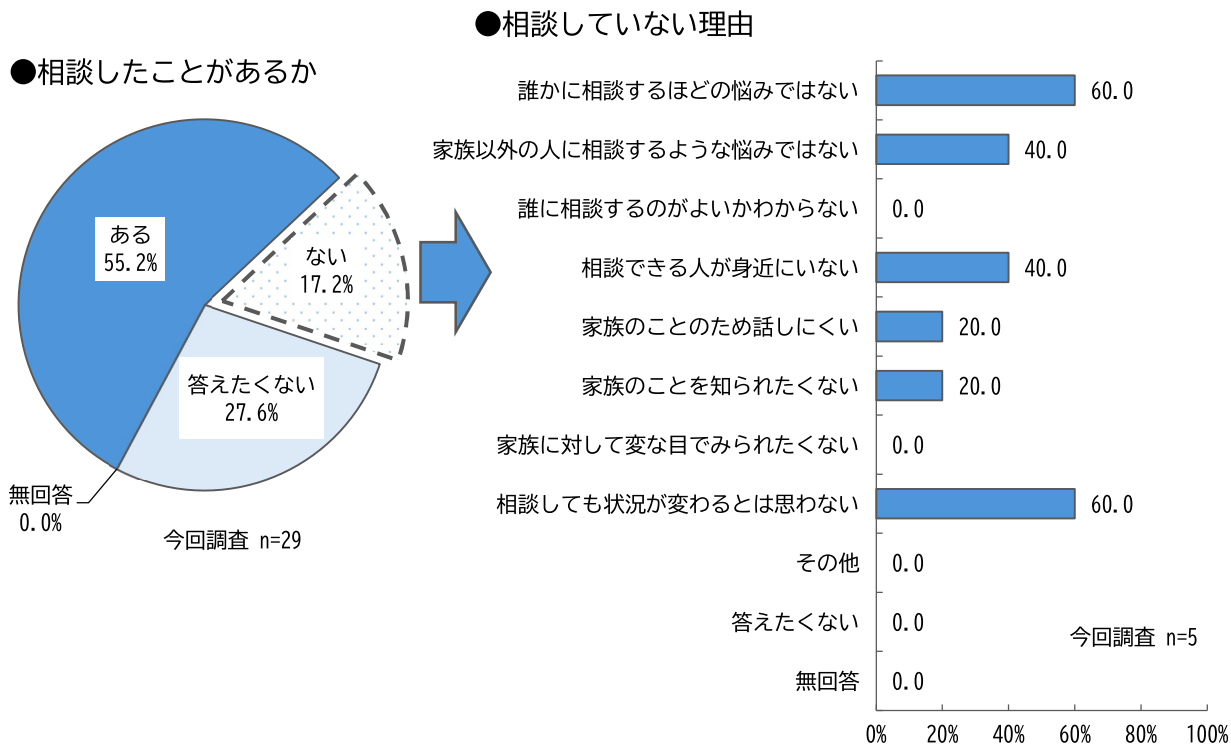
「自分の時間が取れない」と回答した人数：8人

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(単数回答)

相談していない理由を教えてください。(複数回答)

「ある」が55.2%、「ない」が17.2%となっています。

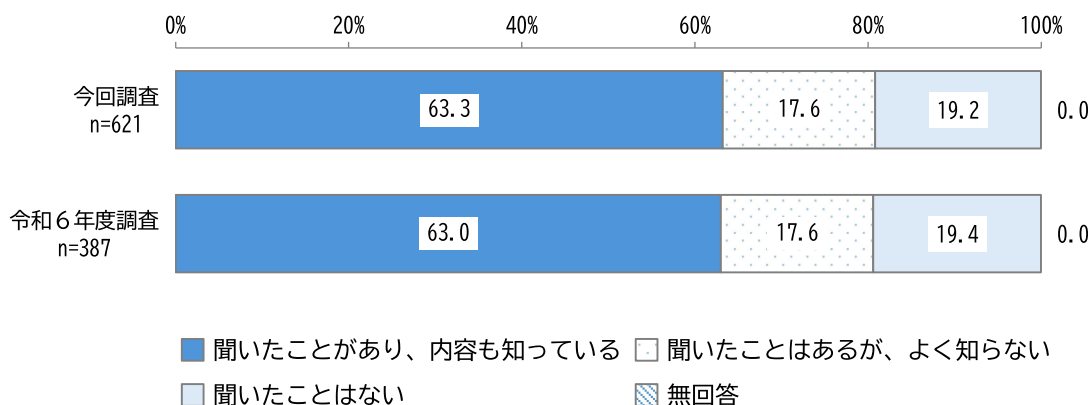
「誰かに相談するほどの悩みではない」「相談しても状況が変わると思わない」が各60.0%となっています。



「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(単数回答)

「聞いたことがあり、内容も知っている」が63.3%で最も高く、次いで「聞いたことはない」が19.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が17.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はありません。



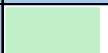
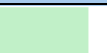
● 自分の将来について明るい希望を持っていますか

／ 現在家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか

	将来について明るい希望を持っている	どちらかといえば、持っている	どちらかといえば、持っていない	持っていない
お世話している人いる n=29	 13.8	 31.0	 44.8	 10.3
お世話している人いない n=567	 21.9	 45.1	 23.8	 9.2
答えたくない n=25	 24.0	 20.0	 16.0	 40.0

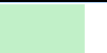
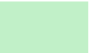
● 自分の親（保護者）から愛されていると思う

／ 現在家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか

	自分の親(保護者)から愛されていると思う	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
お世話している人いる n=29	 41.4	 41.4	 13.8	 3.4
お世話している人いない n=567	 54.5	 35.8	 7.2	 2.5
答えたくない n=25	 28.0	 28.0	 36.0	 8.0

● 自分は役に立たないと強く感じる

／ 現在家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか

	自分は役に立たないと強く感じる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
お世話している人いる n=29	 17.2	 24.1	 37.9	 20.7
お世話している人いない n=567	 7.8	 22.9	 39.0	 30.3
答えたくない n=25	 48.0	 8.0	 32.0	 12.0

● 孤独であると感じることがありますか

／ 現在家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか

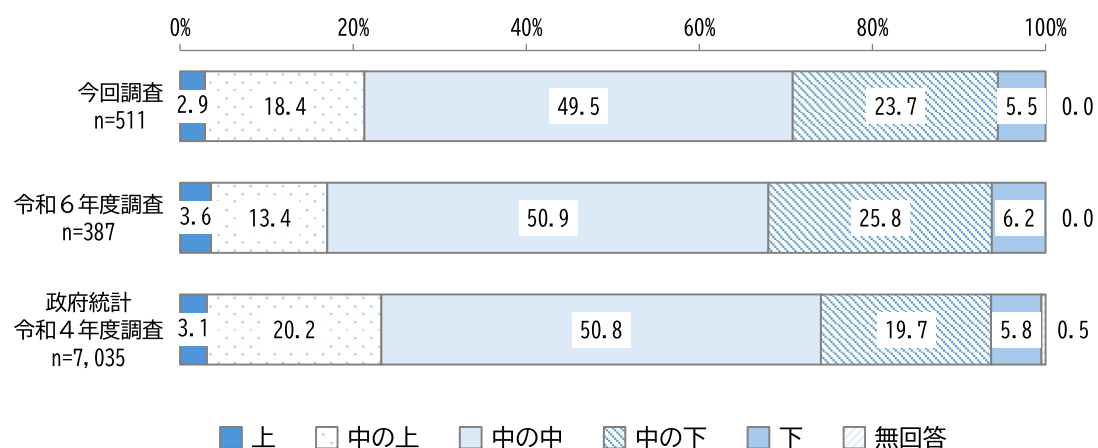
	孤独であると感じることがない	ほとんどない	たまにある	時々ある	しばしばある・常にある
お世話している人いる n=29	 13.8	 13.8	 37.9	 20.7	 13.8
お世話している人いない n=567	 15.7	 33.3	 31.2	 13.9	 5.8
答えたくない n=25	 16.0	 16.0	 28.0	 16.0	 24.0

(7)若者の経済的生活水準

あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたるとお考えですか。あなたの実感でお答えください。（単数回答）

「中の中」が49.5%で最も高く、次いで「中の下」が23.7%、「中の上」が18.4%と続きます。

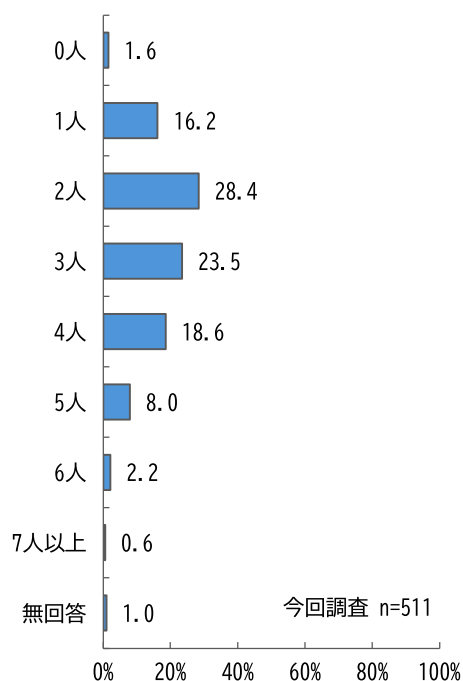
前回調査と比較すると、「中の上」が5.0ポイント増加しています。



※政府統計 令和4年度調査は対象者を15歳～39歳としています

現在、生計をともにしている方は、何人ですか。

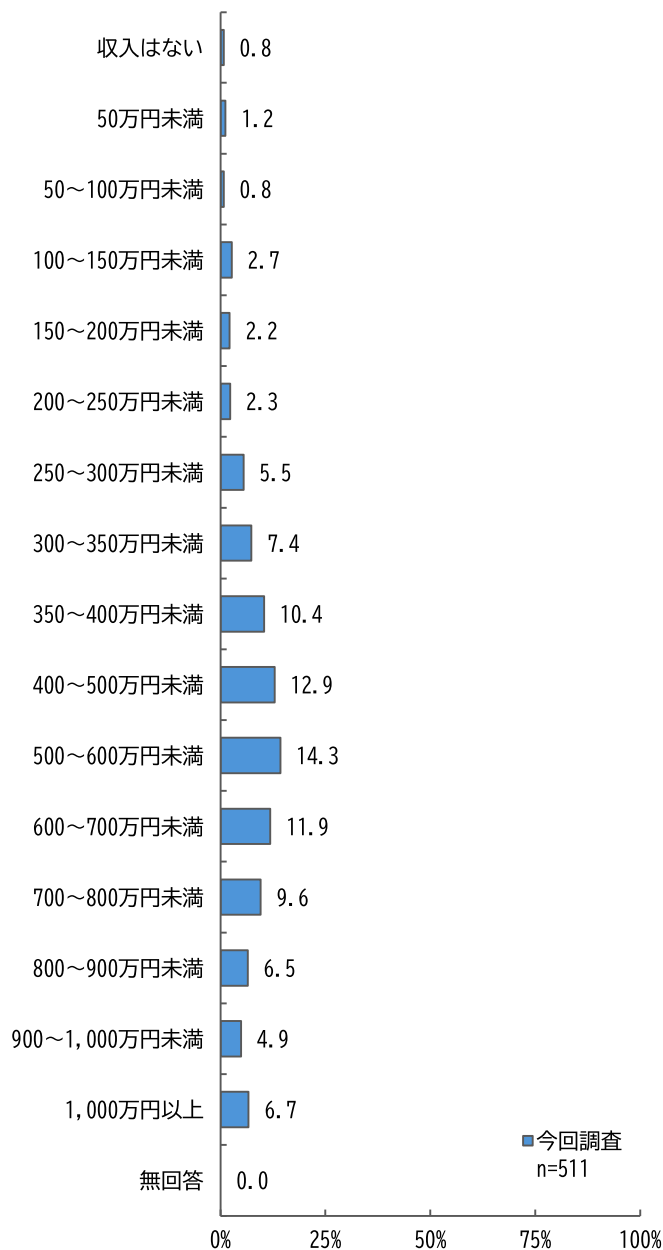
「2人」が28.4%で最も高く、次いで「3人」が23.5%、「4人」が18.6%と続きます。



◎就業経験で「中学生・高校生である」と回答した110件を除く

あなたのご家庭の全員の収入を合わせた年間の可処分所得（年間のボーナスを含む手取り額）※を教えてください。（単数回答）

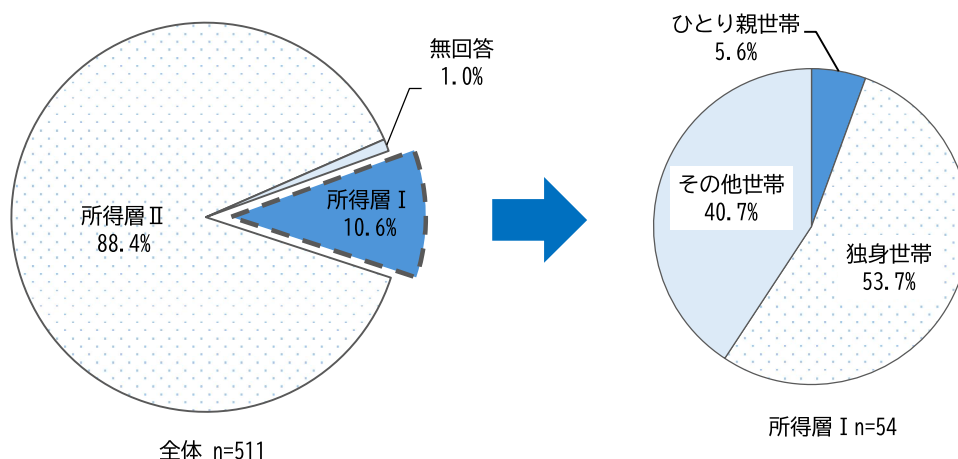
「500～600万円未満」が14.3%で最も高く、次いで「400～500万円未満」が12.9%、「600～700万円未満」が11.9%、「350～400万円未満」が10.4%と続きます。



※可処分所得：所得税・住民税などの税額、健康保険料や年金保険料・介護保険料を支払った後の金額になります。社内貯金や住宅ローンなど、給与から天引きされる貯蓄・借金等がある場合には、天引き前の金額になります。

◎就業経験で「中学生・高校生である」と回答した110件を除く

●所得層Ⅰ基準該当の状況は以下のとおりです。



※所得層Ⅰの内訳：【ひとり親世帯】…婚姻状況で「離別（離婚）」と回答し、「あなたの子」のみと同居していると回答した方

【独身世帯】…婚姻状況で「未婚」と回答した方

【その他世帯】…上記2つに該当しない世帯

◎就業経験で「中学生・高校生である」と回答した110件を除く

●所得層Ⅰ（低所得層）の算出について

国民生活基礎調査（厚生労働省）と同一の算出方法に基づき、アンケート内にある世帯収入の設問の選択肢における中間値を置換し、世帯人数の平方根で除した「等価世帯収入」を算出しました。等価世帯収入について、有効回答者全体の中央値の半分である162万円未満の世帯を低所得層とし、全体に占める貧困の割合を算出しました。

今回の調査は、基準値162万円を下回る世帯を「所得層Ⅰ」、上回る世帯を「所得層Ⅱ」としています。

●国民生活基礎調査とは

保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることを目的としています。

1986(昭和61)年を初年として3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年は簡易な調査を実施することとしています。

「貧困率」については、2010（平成22）年以降大規模調査年のみ実施し、2022(令和4)年は13回目の大規模調査の年に該当しています。

【参考値】 令和4年度国民生活基礎調査結果

令和4年度に実施した全国調査で、令和3年度の貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）は127万円となっており、「相対的貧困率」（貧困線に満たない世帯員の割合）を算出しています。

ア) 相対的貧困率（所得層Ⅰの割合）：15.4%

イ) 子どもの貧困率（17歳以下の者の割合）：11.5%

ウ) 子どもがいる現役世帯（子どもがいる18歳以上65歳未満の世帯主）の貧困率：10.6%

エ) 子どもがいる現役世帯（ウ）のうち、ひとり親世帯の貧困率：44.5%